



日本のまんなか
水と緑といで湯の街渋川市

令和7年5月第4回市長定例記者会見

- ・日時 令和7年5月26日(月)
午後1時
- ・場所 市役所本庁舎記者会見室

- 1 渋川市20周年記念ロゴマークが決まりました(資料1)
- 2 水道水中のPFAS(有機フッ素化合物)に関する説明会を開催します(資料2)
- 3 「みみとカラダの元気度チェック～あなたのみみ、元気ですか?～」を開催します(資料3)
- 4 認知症の発症・進行予防について学ぶ介護予防講演会を開催します(資料4)
- 5 地域で介護予防活動を行う団体を対象としたシニアeスポーツ講座を実施します(資料5)

その他資料提供

- ・渋川市食品ロス削減推進協議会委員を公募します(資料6)
- ・動く環境教室「エコムーブ号がやってくる」を実施します(資料7)
- ・「1000人ROCK FES. GUNMA 弐零弐伍」を開催します(資料8)
- ・令和7年度第3回「渋川まちかどトーク」をはは一ずの皆さんと開催します(資料9)

○次回開催予定

日時：令和7年6月2日(月) 午後1時
場所：渋川市役所本庁舎2階 記者会見室

市長の主な週間日程

月 日	時間	件 名	場 所	所 管
5月26日(月)	9:00	庁議	市役所本庁舎	政策戦略課
	13:00	市長定例記者会見	市役所本庁舎	広報室
5月27日(火)	13:30	北群渋川農業協同組合第31回通常総代会	市民会館大ホール	農政課
	19:00	(一社)道の駅おのこ定時社員総会	小野上公民館	農政課
5月28日(水)	10:00	渋川市防災会議	市役所本庁舎	危機管理室
5月29日(木)	10:00	渋川市固定資産評価審査委員会定例会	市役所本庁舎	総務課
	13:00	自衛隊募集相談員委嘱状交付式	市役所本庁舎	危機管理室
	16:30	渋川市自治会連合会自治会長説明会	ホワイトパーク	市民協働推進課
5月30日(金)	10:00	PFASに関する懇談会	市役所本庁舎	総務経営課
5月31日(土)	9:00	渋川市スポーツ少年団結団式	JESCOアリーナ渋川	スポーツ課
	12:00	1000人ROCK FES.GUNMA2025(14:00～演奏開始)	伊香保グリーン牧場	産業政策課
6月1日(日)				
6月2日(月)	9:00	庁議	市役所本庁舎	政策戦略課
	13:00	市長定例記者会見	市役所本庁舎	広報室

資料1

渋川市20周年記念ロゴマークが決まりました

渋川市20周年記念ロゴマークを募集したところ、121件の応募がありました。1次審査を通過した4作品について、市民を対象とした投票を行った結果、採用作品が決まりました。

採用作品は、今年度実施される20周年記念事業などのシンボルとして活用していきます。

1 概 要

渋川市は、令和8年2月20日で合併から20周年を迎えます。20周年のシンボルとして記念事業に広く活用することができる「ロゴマーク」を募集したところ、計121件の応募がありました。

1次審査を通過した4作品について、2次審査として、市民を対象とした投票を行った結果、投票総数2,969票のうち最多の1,217票を獲得した作品をロゴマークに決定しました。

採用作品は、今年度実施される20周年記念事業などのシンボルとして活用していきます。

2 2次審査の実施結果

(1) 実施期間 令和7年5月8日～5月21日

(2) 実施方法

- ①市内在住者を対象にした投票（インターネット投票及び市内公民館等に設置した投票箱・投票用紙による投票を実施）
- ②市内小・中学生へのアンケートによる投票（小学4年生以上の児童および中学生を対象として、各校児童・生徒に配布されているタブレット端末を用いたインターネット投票を実施）

(3) 投票状況

- ①653票（うち3票が白票）
- ②2,316票
- ※①・②計2,969票（有効票数2,966票）

(4) 得票結果

作品No.1	作品No.2	作品No.3	作品No.4
			
1,217票	432票	494票	823票

3 採用作品



<作品の説明>

渋川市のキャッチコピー「いで湯の街」をモチーフに、合併前の6市町村を「いで湯の湯気」で表現しています。市の花、市の木、市の鳥で20周年のお祝いに彩りを添えます。

4 作者の情報

- ・氏名：横山 勇太さん（50歳代）
- ・職業：グラフィックデザイナー
- ・住所：青森県青森市在住
- ・応募したきっかけ（本人談）

伊香保温泉に興味があり、前回の広報紙タイトルロゴ募集にも応募しました。結果は落選でしたが、その時に調べたり考えたりしたことを今回の20周年記念ロゴマークに生かしたいと思い、応募しました。

参考

応募者数の内訳

- （1）応募期間 令和7年4月1日～23日
- （2）応募件数 121作品（応募者数 81人）

内訳は下記のとおり

	市内	県内	県外	合計
10代	33	1	0	34
20代	2	0	1	3
30代	4	5	5	14
40代	3	0	7	10
50代	16	2	3	21
60代	13	0	14	27
70代	0	0	7	7
80代	0	0	4	4
不明	1	0	0	1
合計	72	8	41	121

ア 県内：前橋市、沼田市、吉岡町、草津町

イ 県外：東京都、広島県、新潟県、石川県、埼玉県、徳島県、大阪府、福井県、千葉県、京都府、静岡県、兵庫県、滋賀県、三重県、青森県、高知県、長崎県、鹿児島県

■問い合わせ先

総合戦略部 部長 鴻田 吉史（内線2410）

担当：広報室（電話0279-22-2182）

室長 熊迫 徳三（内線2419）

シティブランド発信係 坂本 和馬（内線2416）

資料2

水道水中のP F A S（有機フッ素化合物）に関する説明会を開催します

渋川市は、水源井戸からP F A Sが検出されている有馬配水区域の水道利用者を主な対象として、環境省の職員を講師に招いて、6月3日(火)に水道水中のP F A S（有機フッ素化合物）に関する説明会を開催します。

1 概 要

渋川市が市内全域に供給している水道水のうち、現在、行幸田の一部、有馬、八木原、半田の一部地区に給水している有馬配水池の水源井戸からP F A Sが検出されています。そのため、市は、水質監視強化や水質改善に向けた取り組みを実施しています。

これまでに、水道水から国の暫定目標値を超えるP F A Sが検出されたことはありませんが、渋川市の現状と取り組みをお伝えし、市民にP F A Sについての正しい理解を深めていただくため、環境省の職員を招いて説明会を開催します。

2 日 時 令和7年6月3日(火) 午後1時30分～3時30分

3 会 場 渋川市役所本庁舎3階 大会議室

4 主な内容

- (1) 市のP F A Sの現状と取り組みについて（市上下水道局）
- (2) (仮称) P F A Sに関する理解について（環境省水・大気環境局）

5 講 師 環境省 水・大気環境局 環境管理課 水道水質・衛生管理室
室長 柳田 貴広 氏（予定）

6 対 象 者 有馬配水池給水区域内水道利用者ほか、誰でも参加可

7 定 員 120人

8 参 加 料 無料

9 申込方法 総務経営課へ電話（0279-22-2504）で参加人数を伝えてください

10 周知方法

対象地区の住民には、毎戸にチラシを配布します。また、市ホームページに掲載します。

■問い合わせ先

上下水道局 局長 柴崎 憲一（内線4800）

担当：総務経営課（電話0279-22-2504）

課長 阿部 等（内線4810）

総務企画係長 都丸 嘉紀（内線4825）

(有機フッ素化合物)

水道水中のP F A Sに関する説明会 開催のお知らせ

市では、市内全域に水道水を供給していますが、現在、行幸田の一部、有馬、八木原、半田の一部地区に給水している有馬配水池の水源井戸からP F A S (※) が検出されており、水質監視強化や水質改善に向けた取り組みを実施しています。

現状では、水道水から国の暫定目標値を超えるP F A Sの値は検出されていませんが、市の現状と取り組みをお伝えし、また、P F A Sについて理解を深めていただくため環境省の職員を招き説明会を開催します。

※P F A Sとは、2000年代はじめごろまで様々な工業で利用された有機フッ素化合物の総称です。そのなかでもメッキ処理剤や泡消火剤などに使用された「P F O S」、撥水剤や界面活性剤に使用された「P F O A」は、環境中での残留性や健康影響への懸念から、現在では日本を含む多くの国で製造等が禁止されています。

テーマ

- 1 市のP F A Sの現状と取り組みについて
(渋川市上下水道局)
- 2 (仮称) P F A Sに関する理解について
(環境省 水・大気環境局環境管理課)

日 時 令和7年6月3日(火) 午後1時30分から

会 場 市役所本庁舎 3階 大会議室

参加定員 120人(誰でも参加いただけます)

申込方法 電話で上下水道局総務経営課(Tel0279-22-2504)
へ参加人数をお伝えください

問い合わせ先: 渋川市上下水道局 総務経営課 Tel0279-22-2504

資料3

「みみとカラダの元気度チェック ～あなたのみみ、元気ですか?～」を開催します

洪川市は、令和7年度の新たな取り組みとして、「みみとカラダの元気度チェック」を開催します。自分の聞こえに関心を持ち、早期に適切な対応を行うことで、聞き取る機能の維持を図ること、また、聞こえにくさを感じている人の早期発見と早期対応を目的に、計4回実施します。

1 概 要

聞き取る機能が年齢とともに低下していくことはよく知られていますが、聞き取る機能の衰えは、少しずつ進行するため自覚しにくく、「年齢のせい」と適切な対応をせずに放置してしまい、虚弱（フレイル）な状態を進行させてしまいます。

また、聞き取る機能の衰えは、耳から入る音の刺激が減ることによって脳への刺激が減ることや、外出を控えるようになり社会的な孤立を生じることから、認知症につながるリスクが高まるともいわれています。

一方、洪川市の介護予防事業において「耳の聞こえが気になりますか」のアンケート調査をしたところ、「気になる」と回答した人のうち、補聴器を使用している人の割合は24.4%にとどまっており、聞こえについての関心や対応が不十分であることが確認できました。

そこで、聞き取る機能の衰えが心身に与える影響や、衰えの進行を遅らせるために適切な対応を行うことへの理解を深め、言葉の聞き取り状態を可視化できるチェック体験を行う「みみとカラダの元気度チェック」事業を行います。

2 内 容

①耳鼻科医が教える「聞こえについてのみみよりな話」

②聞こえのチェック

（20文字の単音が再生され、その言葉を答える簡単なチェックです）

③体力測定

④脳を活性化するトレーニング

3 日時・場所等

日程	時間	場所	広報紙	申込期間	内容
令和7年7月9日(水)	午後	北橋 公民館	6月号	6月6日(金) ～27日(金)	①②③④
令和7年8月7日(木)	午前	洪川 公民館	6月号	6月6日(金) ～7月31日(木)	①②③④
令和7年12月4日(木)	午後	中央 公民館	11月号	11月7日(金) ～27日(木)	②
令和8年3月4日(水)	午前	洪川 市民会館	2月号	2月6日(金) ～25日(水)	①②③④

※時間の午前は「10時～11時30分」、午後は「1時30分～3時」

- 4 対 象 者 65歳以上の人
- 5 参 加 費 無料
- 6 定 員 各回30人（先着順）
※12月4日（木）のみ20人（先着順）
- 7 申込方法 電話で介護保険課（0279-22-2116）へ
- 8 周知方法 広報しぶかわ及び市ホームページに掲載
案内チラシを介護保険課窓口、介護予防事業の教室等で配布

■問い合わせ先

福祉部 部長 生方 清三郎（内線1200）

担当：介護保険課（電話0279-22-2116）

課長 小渕 正子（内線1230）

健康寿命推進係長 中川 有希（内線1233）

参加費無料

みみとカラダの元気度チェック



こんな『気になる』ありませんか？

- ☐ 家族にテレビやラジオの音量が大きいと言われることがよくある
- ☐ 相手の言ったことを憶測で判断することがある
- ☐ 会食など複数人の会話がうまく聞き取れない
- ☐ 会話をしているときに聞き返すことが増えた



など・・・

「聴脳科学総合研究所」ヒアリングフレイル チェックリストを一部抜粋・改変

チェックに当てはまったら

「聞き取る機能の衰え」が原因かもしれません。

聞き取る能力の衰えは、認知症やうつ病のリスクが高まると言われています。

チェック会に参加して、「聞こえ」について知ってみませんか。

内容

○ 医師が教える「聞こえについてのみみよりな話」

○ 聞こえのチェックと相談

20文字の単音が再生されその言葉を答える簡単なチェック

○ 体力測定、脳を活性化する運動



対象

市内在住の65歳以上の方

定員

各30名程度（要申込み、先着）

日時・会場

午前：10時～11時30分

午後：1時30分～3時

日程	時間	会場	広報	申込受付
7月9日(水)	午後	北橘公民館	6月号	6月6日(金)～27日(金)
8月7日(木)	午前	渋川公民館		6月6日(金)～7月31日(木)
12月4日(木) ※ 聞こえのチェックのみ実施	午後	中央公民館	11月号	11月7日(金)～27日(木)
令和8年 3月4日(水)	午前	渋川市民会館	2月号	2月6日(金)～25日(水)

※ 参加できるのは1回のみです。

【会場アクセス(渋川市民会館)】 ★ 経路検索には、スマートフォン専用サービス「GunMaaS」が便利です

バス：渋川駅～渋川スカイランドパーク～伊香保温泉線(関越交通(株))「市民会館前」下車

渋川温泉～渋川駅～渋川スカイランドパーク線(渋川タウンバス/日本中央(株))「市民会館前」下車

電車：JR上越線「渋川駅」から徒歩約20分

問合せ・申込先：渋川市役所介護保険課 ☎22-2116

資料4

認知症の発症・進行予防について学ぶ 介護予防講演会を開催します

認知症は、年齢に関わらず誰でもかかる可能性があります。認知症の発症を遅らせるヒントは、毎日の過ごし方にあります。そこで、今日からできる生活のポイントを、楽しみながら体験し学べる介護予防講演会を、7月24日(木)に開催します。

1 概 要

毎日をより自分らしく、いきいきと過ごすためには、体の健康だけでなく、脳の健康にも目を向けることが大切です。認知症の発症や進行予防のヒントは、毎日の過ごし方にありますので、そのポイントを学び、できることから始めることが必要です。

渋川市は、介護予防等多方面で活躍されている講師を迎え、最新の知見を踏まえた認知症予防について学ぶとともに、生活に取り入れられる実践のポイントを実技を交えながら知ってもらう介護予防講演会を開催します。

2 日 時 令和7年7月24日(木) 午後2時～3時30分

3 場 所 渋川市民会館大ホール(渋川市渋川2795)

4 内 容

「最新の研究が明かす！ 認知症予防最前線 ～今日からできる生活のポイント～」をテーマに、最新の知見を踏まえながら、分かりやすく説明してもらいます。また、すぐに生活に取り入れられるポイントを、実技を交えながら教えてもらいます。

5 講 師

群馬大学大学院保健学研究科 リハビリテーション学講座 教授 山上 徹也先生



【講師紹介】

講師の山上先生は、認知症の発症・進行予防法、介護予防、地域リハビリテーションを研究しているほか、専門理学療法士(生活環境支援)として多方面で活躍しています。

また、令和6年度からは、渋川市が官民学連携で行っている介護保険課事業、脳活塾(認知機能維持教室)において、指導を担当しています。

6 対 象 者 市内在住の人

7 参 加 費 無料

- 8 定 員 200人程度
- 9 申込方法 電話で介護保険課（0279-22-2116）へ
- 10 申込期間 令和7年6月2日（月）～7月17日（木）
- 11 周知方法 広報しぶかわ6月号及び市ホームページに掲載
案内チラシを介護保険課窓口、介護予防事業の教室等で配布
- 12 その他
参加者は、フェイスタオル1本（横約30cm×横約80cm）を持参してください。

参考

過年度の実施状況

（1）令和4年度

- ①実施日：令和4年10月14日 午後1時30分～3時30分
- ②会場：渋川市民会館
- ③テーマ：「総復習！暮らしを拓げる10の筋力トレーニング」
- ④講師：東京都立大学 健康福祉部 理学療法学科 教授 浅川 康吉さん
- ⑤参加者数：86人

（2）令和5年度

- ①実施日：令和5年7月6日 午後1時30分～3時30分
- ②会場：渋川市民会館
- ③テーマ：「歌って 笑って 介護予防！～音楽療法で心と体をもっと元気に～」
- ④講師：内田病院 音楽療法士 内田 由貴子さん
- ⑤参加人数：213人

（3）令和6年度

- ①実施日：令和6年11月12日 午後1時30分～3時
- ②会場：渋川市民会館
- ③テーマ：「心のお手入れ術と快眠法」
- ④講師：一般社団法人 日本精神科看護協会
業務執行理事 事務局 政策企画局 局長 草地 仁史さん
- ⑤参加者数：203人

■問い合わせ先

福祉部 部長 生方 清三郎（内線1200）
担当：介護保険課（電話0279-22-2116）
課長 小淵 正子（内線1230）
健康寿命推進係長 中川 有希（内線1233）

最新の研究が明かす！ 認知症予防最前線

ー 今日からできる生活のポイント ー

認知症は、年齢に関わらず誰でもかかる可能性があり、認知症の発症を遅らせるヒントは、日々の生活の中にあります。より自分らしく、元気に過ごすために、そのヒントを学んでみませんか。



日時

令和7年 **7月 24日 (木)**

午後2時～3時30分 (受付:午後1時30分～)

会場

渋川市民会館 大ホール (渋川市渋川2795番地)

講師

群馬大学大学院保健学研究科

リハビリテーション学講座 教授

(保健学博士・生活環境支援専門理学療法士)

山上 徹也 氏



内容

最新の知見を踏まえながら、認知症の発症・進行の予防法について、わかりやすくお話いただきます。また、すぐに生活に取り入れられるポイントを、実技を交えながら教えていただきます。

＜持ち物＞ フェイスタオル 1本 (縦約30cm×横約80cm)

参加費
無料

【申込期間】 6月2日(月)～ 7月17日(木)

※本講演会は、渋川市民の方が対象となります

お問合せ・申込先：渋川市介護保険課 ☎ 22-2116

資料5

地域で介護予防活動を行う団体を対象とした シニア e スポーツ講座を実施します

e スポーツは、楽しく取り組むことができ、社会参加の促進、世代間交流、生きがいの推進につながるなど様々な効果が期待されています。

そこで、地域で介護予防活動を行う集まりの場の運営者を対象として、集まりの場の活性化や運営者同士の交流、e スポーツ実施に対するニーズ調査を行うことを目的とし、シニア e スポーツ講座を実施します。

1 概 要

渋川市は、高齢者が健康づくりや介護予防に関心を持ち、できるだけ早期から予防行動を実践してもらえるよう、様々な介護予防事業を行っていますが、参加者の固定化や男性参加者が少ないことが課題になっています。また、高齢者が住み慣れた地域で介護予防活動を行うための集まりの場は、コロナ禍以降、活動休止、担い手不足、一部の地域では参加者数の減少が課題となっています。

そこで、地域の集まりの場の運営者を対象として、運営者同士の交流促進と活動を活性化する手立てとなり得る「e スポーツ」の講座を実施します。また、講座と合わせて、集まりの場におけるe スポーツ実施に対するニーズをアンケート調査し、e スポーツが集まりの場の活性化やシニア男性を含めた地域住民の交流促進、介護予防への興味関心を高める手立てとなり得るかを検証します。

なお、介護予防活動のためのシニア向け e スポーツ講座は、渋川市では初の実施となります。

- | | |
|---------|-----------------------------------|
| 2 日 時 | 令和7年7月4日(金) 午後1時30分～3時 |
| 3 場 所 | 金島ふれあいセンター ホール (渋川市金井1999) |
| 4 内 容 | e スポーツ講座、太鼓の達人ドンダフルフェスティバルの体験 |
| 5 講 師 | 群馬県 e スポーツ・クリエイティブ推進課 職員 |
| 6 対 象 者 | 渋川市サロン推進団体・介護予防活動推進団体の代表者 (114団体) |
| 7 参 加 費 | 無料 |
| 8 定 員 | 50人 (対象50団体から各団体1～3人までの参加・先着順) |
| 9 申込方法 | 電話で介護保険課 (0279-22-2116) へ |

- 10 申込期間 令和7年6月2日(月)～13日(金)
- 11 周知方法 対象者への案内通知の配布
- 12 主 催 公益財団法人群馬県長寿社会づくり財団
- 13 共 催 渋川市
- 14 後 援 一般財団法人群馬県老人クラブ連合会、社会福祉法人群馬県社会福祉協議会

■問い合わせ先

福祉部 部長 生方 清三郎（内線1200）

担当：介護保険課（電話0279-22-2116）

課長 小淵 正子（内線1230）

健康寿命推進係長 中川 有希（内線1233）

シニアの “eスポーツ”講座

(渋川会場)

～「太鼓の達人」の体験～

eスポーツは、頭を使いながら状況に反応し指先を動かすため、認知機能の維持・向上が期待されています。

また、人と交流しながらゲームを行うため、社会とのつながりを保つことができ、社会参加の促進にもつながるとされ、様々な効果が期待されています。

そこで、渋川市と群馬県長寿社会づくり財団では、健康長寿社会に向けたeスポーツ講座を実施します。

<日 時> 令和7年7月4日(金) 13:30～15:00

(受付 13:00～13:30)

<会 場> 金島ふれあいセンター(金島公民館) ホール

<講 師> 群馬県eスポーツ・クリエイティブ推進課 職員

<定 員> 50団体(各団体1～3名までの参加)

*応募者多数の場合、参加人数を調整する場合があります。

<対象者> 市内でふれあいサロン活動及び介護予防活動促進事業を実践している団体

<参加費> 無料

<申込先> 渋川市介護保険課健康寿命推進係

<申込方法> 電話又は窓口にて、氏名 ②生年月日 ③住所 ④電話番号 ⑤団体名をお知らせください。

<申込期間> 令和7年6月2日(月)～6月13日(金)

【eスポーツとは？】

eスポーツとは、エレクトロニック・スポーツの略で電子機器を用いて行う娯楽、競技、スポーツ全般を指します。

世界には少なくとも1億人以上の競技人口がいるといわれており、近年では、国体の文化プログラムとしても取り入れられるなど今注目のスポーツです。

指先を動かすことや、ゲーム内の状況に対応することで認知症予防にも期待でき、性別や年齢に関わらず誰でも活躍できる可能性を秘めています。

＜講座内容＞※内容が変更になる場合があります。

- ガイダンス「eスポーツって何？」他 講師：群馬県eスポーツ・クリエイティブ推進課
- 太鼓の達人 ドングルフェスティバル操作練習・体験
- 質疑応答 他

【太鼓の達人を体験している様子】



～申込み・問い合わせ先～

渋川市 介護保険課 健康寿命推進係

〒377-8501 渋川市石原 80 番地 電話：0279-22-2116

※「個人情報の利用目的」

1 当財団事業及び群馬県長寿社会づくり財団が主催する事業で利用します。

2 上記1を行うため、群馬県長寿社会づくり財団と参加者の個人情報(住所、氏名、性別、年齢、電話番号)を共有します。

【主催】 公益財団法人群馬県長寿社会づくり財団 【共催】 渋川市

渋川市食品ロス削減推進協議会委員を公募します

食品ロス削減推進協議会は、渋川市の食品ロス削減への取り組みに関する基本的事項についての協議及び食品ロスの削減に関する情報交換を行う場です。

渋川市は、食品ロス削減の推進に当たり、市民の皆さんの意見を反映させるため、食品ロス削減推進協議会の委員を公募します。

1 概 要

渋川市は、市民、事業者及び行政が連携して食品ロスの排出抑制・減量化を推進し、環境負荷の少ない社会を構築するため、渋川市食品ロス削減推進協議会を設置しています。今後の食品ロス削減の推進に当たり、市民の皆さんの意見を反映させるため、渋川市食品ロス削減推進協議会委員を公募します。

2 募集人数 3人以内

3 応募資格

次の(1)～(4)全てに当てはまる人

- (1) 応募日現在で18歳以上である人
- (2) 渋川市内在住又は在勤である人
- (3) 渋川市の食品ロス削減に関心がある人
- (4) 市議会議員、市職員、ほかの審議会などの委員ではない人

4 任 期 令和7年7月1日(火)～令和9年6月30日(水) (2年間)

5 会議回数等

- (1) 会議は年間2回程度を予定しています
- (2) 報酬の支給はありません
- (3) 委員の氏名や発言内容を公表することがあります

6 応募方法

応募申込書に必要事項及び応募動機を記入の上、郵送(〒377-8501・渋川市石原80・渋川市環境森林課宛)、FAX(0279-24-6541)、メール(kankyoushi@city.shibukawa.gunma.jp)又は直接持参(環境森林課窓口)のいずれかの方法で提出してください。

※申込書類は、市ホームページ、環境森林課、各行政センター、各公民館及び図書館に設置しています

7 応募期間 令和7年6月2日(月)～16日(月) (必着)

8 選考方法

応募時に提出された「応募動機」のほか、年齢や男女の構成比を考慮して選考します。

選考結果は、応募者全員に書面で通知します。

参考

渋川市食品ロス削減推進協議会委員（公募委員を除く）

区分	名称
事業者・団体	伊香保温泉旅館協同組合
	渋川商工会議所
	しぶかわ商工会
	渋川地区物産振興協会
	しぶかわフードラブ協力店
	食品製造業者
	農業者
	フードバンク
	こども食堂
	渋川市女性団体連絡協議会
	渋川市食生活改善推進員連絡協議会
関係機関	群馬県中部環境事務所

■問い合わせ先

市民環境部 部長 堀口 幸則（内線1100）

担当：環境森林課（電話0279-22-2114）

課長 入澤 仁（内線1140）

環境政策係長 小林 哲彦（内線1146）

動く環境教室「エコムーブ号がやってくる」を実施します

市民が環境問題について学ぶ機会を提供し、環境を守るために、一人ひとりができることについて考え、行動していくためのきっかけづくりとするため、群馬県の移動環境学習車「エコムーブ号」による動く環境教室を実施します。

1 概 要

環境問題は、私たち一人ひとりに関わる問題です。その解決には、あらゆる年代の人たちが環境について学習し、日々の生活の中で身近な環境の改善に向けた取り組みを実践していく必要があります。そこで、身近な環境について学ぶ機会を提供し、環境を守るために自分ができることについて、考え行動していくためのきっかけづくりの場として、動く環境教室「エコムーブ号がやってくる」を実施します。

2 内 容

エコムーブ号は、群馬県に登録した環境学習サポーターが各地に出向き、エコムーブ号に搭載されている説明用パネルや実験器具などを使って、環境学習をサポートするものです。今回は、環境学習への裾野を広げるため、全8プログラムのうち小学4年生から受講できる次のプログラムを実施します。

(1)「SDGsってなあに？SDGs入門編」

SDGsについて学び、SDGsカードゲームを通して環境問題を自分のこととして捉え、持続可能な開発目標のうち「ゴール13気候変動に具体的な対策を」の目標に対して自分ができることを考えます。

(2)「発電から地球温暖化について調べてみよう」

二酸化炭素の排出量と地球温暖化との関係を知り、二酸化炭素排出量を減らそうとする意欲を高め、二酸化炭素排出量の少ない発電方法があることを学びます。

3 日 時 令和7年7月6日(日) 午前10時～11時40分

4 実施場所 渋川公民館 講堂(渋川市石原6-1)

5 講 師 群馬県環境学習サポーター

6 対 象 者 市内在住・在勤・在学の人(小学4年生以上)

7 定 員 15人(抽選)

8 申込方法 応募申込フォーム又は電話で環境森林課(電話0279-22-2114)へ

9 申込期間 令和7年6月6日(金)～19日(木)

参考

令和6年度の動く環境教室「エコムーブ号がやってくる」実施状況

- (1) 開催日 令和6年7月25日
- (2) 会場 渋川市中央公民館 2階講義室・4階ホール
- (3) 実施プログラム
 - ・SDGsってなあに？SDGs入門編
 - ・省エネ電球で地球温暖化について考えてみよう
- (4) 参加人数 12人

■問い合わせ先

市民環境部 部長 堀口 幸則（内線1100）

担当：環境森林課（電話0279-22-2114）

課長 入澤 仁（内線1140）

環境政策係長 小林 哲彦（内線1146）

資料8

「1000人ROCK FES. GUNMA 弐零弐伍」を開催します

地域のにぎわい創出と交流人口の拡大を目的として、全国から約1,000人のロックファンを集めて、一斉に同じ楽曲を演奏する「1000人ROCK FES. GUNMA 弐零弐伍」を、5月31日(土)に伊香保グリーン牧場で開催します。

1 概 要

地域のにぎわいを創出し、交流人口の拡大を図ることを目的として、バンドメンバー約1,000人が、一斉に同じ楽曲を演奏する音楽イベントを実施します。

なお、このイベントは、「1000人ROCK FES. GUNMA補助金」の交付を受けています。

2 日 時

令和7年5月31日(土) 午後2時～

※雨天の場合は翌日6月1日(日)に延期します。6月1日も雨天の場合は中止します

3 場 所

伊香保グリーン牧場 (渋川市金井2844-1)

4 内 容

全国からロックファン約1,000人を集め、バンドメンバーとして全員で一斉に同じ楽曲を演奏します。

昨年は、約600人の演奏者が参加するとともに、伊香保グリーン牧場への来場者を含めて2,000人を超える観客を集めました。今年度は、5月中旬時点で約700人の応募を受け付けています。

(1) 演奏人数 (計1,000人)

- ・ボーカル=200人
- ・エレキギター=500人
- ・エレキベース=200人
- ・ドラム=100人

(2) 演奏曲

氣志團の「One Night Carnival」を課題曲として演奏します。

5 参加方法

演奏に参加する場合は、事前エントリーが必要です。

現在、チケットぴあ専用ページで参加チケットを販売しています。また、ダストボウル楽器店の群馬県内3店舗(前橋、高崎、伊勢崎)でも購入できます。

※申し込みが各パートの定員になり次第、募集を締め切ります

※当日、伊香保グリーン牧場に入場した人は、どなたでも自由に演奏の様子を見ることができます

6 主 催 1000人ROCK実行委員会

7 そ の 他

当日は、駐車場の混雑が予想されます。来場の際は、できる限り公共交通機関をご利用ください。

※スマートフォンをお使いの人は、自宅から目的地までの路線バスや鉄道の経路検索に便利な専用サービス「GunMa a S」を、ぜひ、ご利用ください

参考

1 1000人ROCK FES. GUNMAとは

1000人ROCK FES. GUNMAは、渋川市で開催している参加型の大型バンド演奏イベントです。バンドメンバーとして約1,000人の参加者を募集し、伊香保グリーン牧場の会場で一斉に同じ楽曲を演奏します。

平成29年に渋川青年会議所の創立50周年記念事業として初めて開催し、令和2年、3年は新型コロナウイルスの影響で中止となりましたが、令和4年からイベントを再開し、今年で7回目の開催を迎えます。

2 過去の実施結果

年度	開催日	来場者数	楽曲
平成29年度	6月3日(土)	4,000人	「B・BLUE/BOØWY」
平成30年度	6月2日(土)	4,000人	「NO. NEW YORK/BOØWY」
令和元年度	6月1日(土)	2,000人	「終わらない歌/THE BLUE HEARTS」
令和2年度	中止	—	「Learn to Fly/Foo Fighters」
令和3年度	中止	—	「TELL ME/hide with Spread Beaver」
令和4年度	10月15日(土)	約700人	「CLOUDY HEART/BOØWY」 「青空/THE BLUE HEARTS」「HURRY GO ROUND/hide with Spread Beaver」
令和5年度	6月4日(日)	2,000人	「ROCKET DIVE/hide with Spread Beaver」
令和6年度	6月1日(土)	2,000人	「小さな恋のうた/MONGOL800」

■問い合わせ先

産業観光部 部長 柴田 宏 (内線4899)

担当：産業政策課 (電話0279-22-2596)

課長 山田 量俊 (内線4890)

商工・産業振興係長 保科 陽介 (内線4895)

令和7年度第3回「渋川まちかどトーク」を はは一ずの皆さんと開催します

市民などで構成する団体と市長などの市の関係者が、設定したテーマに基づいて意見交換を行う「渋川まちかどトーク」について、令和7年度の第3回を、6月1日(日)に「はは一ず」の皆さんと開催します。

1 概 要

「渋川まちかどトーク」は、市民等で構成された団体と市長などの市関係者との意見交換を行う広聴事業です。事前に設定したテーマに基づいて意見交換を行うことにより、市民ニーズなどを的確に把握し、市と市民等との協働によるまちづくりの関係を構築することを目的として開催するものです。

今回は、渋川市や近郊の父母たちによる学習支援や居場所作り、多世代交流サークルなど、『楽しく学ぼう』を目的に活動している団体「はは一ず」の皆さんと意見交換を行います。

2 日 時 令和7年6月1日(日) 午前10時～正午(予定)

3 場 所 渋川公民館 講堂(渋川市渋川6-1)

4 テーマ 子どもが自分も相手も大切にできる社会に向けた、これからの学校教育について

5 参 加 者

- ・はは一ずの皆さん(10人)
- ・副市長、教育長、総合戦略部長、教育部長、学校教育課長

6 そ の 他

- (1)「渋川まちかどトーク」は、令和5年度から導入した広聴事業です。事業実施希望団体からの申し込みにより開催し、今回が通算で4回目の開催となります。
- (2)県内12市において、市長と市民等との意見交換の機会を設けているのは、渋川市のほか前橋市、桐生市、伊勢崎市、太田市(休止中)、沼田市、館林市、安中市、みどり市の8市です。

参考

過去の実施状況

(1) 令和6年度

・第1回

- ①参加団体：渋川市老人クラブ連合会
- ②実施日：令和6年10月4日
- ③参加者：渋川市老人クラブ連合会15人 ※傍聴人1人
- ④テーマ：高齢者の日常生活での困りごと

(2) 令和7年度

・第1回（通算2回目）

- ①参加団体：マンマ・おのがみ
- ②実施日：令和7年4月23日
- ③参加者：マンマ・おのがみ7人 ※傍聴人1人
- ④テーマ：小野上の地域課題とワークライフバランス

・第2回（通算3回目）

- ①参加団体：庭カフェ未来共創部
- ②実施日：令和7年5月21日
- ③参加者：庭カフェ未来共創部5人
- ④テーマ：渋川市の未来共創について

■問い合わせ先

総合戦略部 部長 鴻田 吉史（内線2410）

担当：広報室（電話0279-22-2182）

室長 熊迫 徳三（内線2419）

広報広聴係長 武井 香代（内線2414）